

西南之役 山鹿口の戦い



西南の役 山鹿口の戦い (概要)

1. 山鹿口の戦いは第1次（2月26日）から第5次（3月21日）迄の約1ヶ月間に及んだ。
2. この山鹿口の戦いに於ける戦死者は政府軍：411名、薩摩軍：108名の合計519名を数える。
3. この戦死者については博物館南側に慰霊碑を建立し氏名、出身地を刻して毎年4月に慰霊祭を行っている。（西南之役山鹿口戦蹟顕彰会）
4. 山鹿口の戦いは山鹿市全地域に及ぶが、特に主だった戦跡には石碑あるいは標木をたてて案内している。（本日は博物館周辺のみ）
5. 特筆すべきは封建制が残る中この戦の間、我が国初の「民権政治」が行われたことであろう。

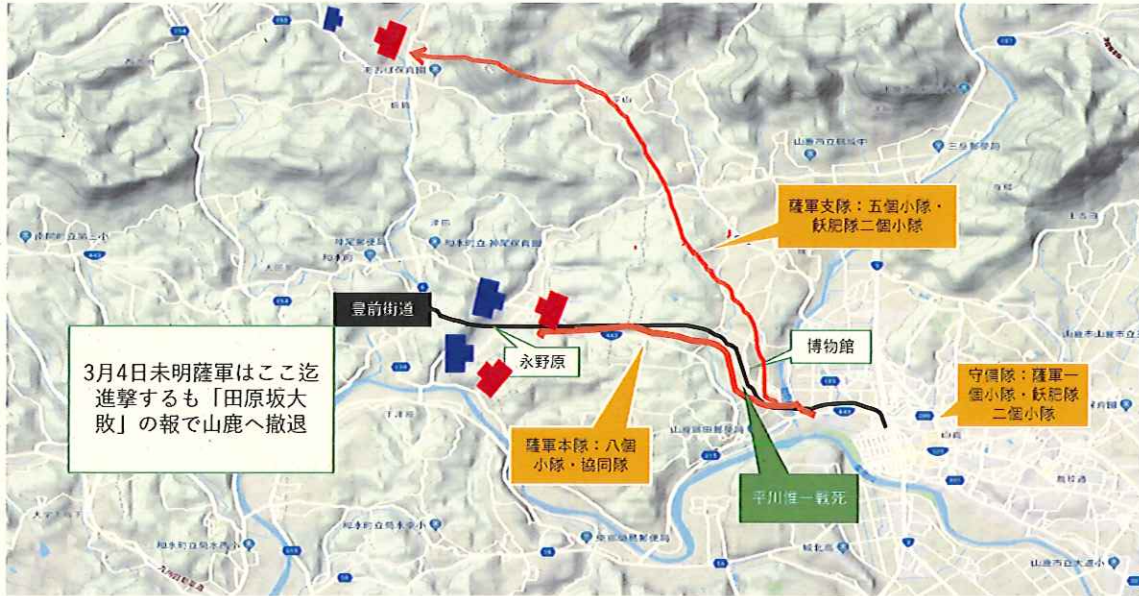
西南の役 山鹿口の戦い (推移)

1. 2月23日、官軍(14連隊 津下少佐)山鹿に入り鍋田川両岸に布陣(約300名)
その後正円寺⇒平山⇒車返(腹切坂?)で東京鎮台兵と合流(野津大佐)
2. 2月25日(24日)薩軍(桐野利秋四番大隊長)約2600名を率いて山鹿に入る
熊本協同隊を含む
3. 飢肥隊、川尻から山鹿に入る(約500人)
4. 3月3~4日薩軍 南関に迫る。(植木陥落の誤報にて山鹿へ撤退)
5. 3月7日、桐野利秋、命令で山鹿を離れ熊本本部へ
6. 3月10日、第3旅団(三浦梧楼少将)3個大隊を率い岩村に入る
官軍:約4500名、薩軍:約2500名の体制
7. 3月20日 薩軍 植木方面へ援軍を送る(山鹿は手薄)
8. 3月21日 薩軍、菊池・田島方面へ退却(山鹿口の戦が終わる)
(山鹿市史、西南紀伝、薩南血涙史、征西戦記稿 等)

西南の役 山鹿口の戦い 第一次(2月26~27日)



西南の役 山鹿口の戦い 第二次(3月3~10日)



西南の役 山鹿口の戦い 第三次(3月12日)



西南の役 山鹿口の戦い 第四次（3月15～20日）



西南の役 山鹿口の戦い 第五次（3月21日）

